



鳥取県公報

平成 23 年 9 月 13 日 (火)
第 8 3 2 8 号

毎週火・金曜日発行

目 次

◇ 告 示	出納員の権限に属する事務の一部の委任 (531) (会計指導課) 2
	会計管理者の権限に属する事務の一部の委任 (532) (〃) 2
◇ 調達公告	落札者の決定 (教育委員会教育環境課) 2
	随意契約の相手方の決定 (〃) 3
	一般競争入札の実施 (警察本部会計課) 3

告 示

鳥取県告示第531号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第171条第4項の規定に基づき、出納員をしてその権限に属する事務の一部を次のとおり委任させたので、同項後段の規定により告示する。

平成23年9月13日

鳥取県知事 平 井 伸 治

- 1 委任させた事務
公文書、行政資料その他の書類の写しの作成及び送付に要する費用に係る現金の収納に関する事務
- 2 委任を受けた分任出納員
鳥取県西部総合事務所県税局収税課
係長 河津 久志
非常勤職員 濱田 康子
- 3 委任期間
平成23年9月1日から平成24年3月31日まで

鳥取県告示第532号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第171条第4項の規定に基づき、会計管理者をしてその権限に属する事務の一部を次のとおり委任させたので、同項後段の規定により告示する。

平成23年9月13日

鳥取県知事 平 井 伸 治

- 1 委任させた事務
第55回鳥取県美術展覧会に係る出品料の収納事務
- 2 委任を受けた出納員
鳥取県文化観光局文化政策課
副主幹 野坂 明正
副主幹 長田 洋一
主 事 加藤 裕美
- 3 委任期間
平成23年9月11日から同月16日まで

調 達 公 告

一般競争入札により落札者を決定したので、地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令（平成7年政令第372号）第11条の規定に基づき、次のとおり公告する。

平成23年9月13日

鳥取県立米子工業高等学校長 安 藤 順 一

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| 1 調 達 件 名 及 び 数 量 | 米子工業高等学校CADシステム賃貸借（2室分） 一式 |
| 2 契 約 方 式 | 一般競争入札 |
| 3 落 札 日 | 平成23年7月26日 |
| 4 落札者の名称及び所在地 | 株式会社ソルコム鳥取支店
鳥取市岩吉166-2 |
| 5 落 札 金 額 | 52,712,100円（消費税及び地方消費税の額を含む。） |
| 6 入 札 公 告 日 | 平成23年7月1日 |
| 7 落 札 方 式 | 最低価格落札方式 |
| 8 契約事務担当部局の名称
及び所在地 | 鳥取県立米子工業高等学校
米子市博労町四丁目220 |

随意契約の相手方を決定したので、地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令（平成7年政令第372号）第11条の規定に基づき、次のとおり公告する。

平成23年9月13日

鳥取県立日野高等学校長 金 田 静 樹

- | | |
|------------------------|---|
| 1 調 達 件 名 及 び 数 量 | 日野高等学校パソコン等賃貸借（2室分） 一式 |
| 2 契 約 方 式 | 随意契約 |
| 3 随意契約の相手方を決定
した日 | 平成23年7月27日 |
| 4 契約の相手方の名称及び
所在地 | 株式会社ソルコム鳥取支店
鳥取市岩吉166-2 |
| 5 契 約 金 額 | 34,776,000円（消費税及び地方消費税の額を含む。） |
| 6 随意契約による理由 | 再度の入札に付し落札者がなかったため。（地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の2第1項第8号） |
| 7 契約事務担当部局の名称
及び所在地 | 鳥取県立日野高等学校
日野郡日野町根雨310 |

一般競争入札を行うので、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号。以下「政令」という。）第167条の6第1項の規定に基づき、次のとおり公告する。

平成23年9月13日

鳥取県知事 平 井 伸 治

- 1 調達内容
 - (1) 調達案件の名称及び数量
携帯電話賃貸借 一式
ア 借入台数 200台
イ 通話想定回数 賃貸借期間中、携帯電話1台につき30秒通話を70回
 - (2) 調達案件の仕様
入札説明書による。
 - (3) 賃貸借期間

平成23年10月26日から平成23年11月1日まで

(4) 入札書の記載方法

入札金額は、賃貸借に係る料金（導入費用、携帯電話端末費用等を含む。）と通話に係る料金の合計額（それぞれの料金に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする。）とし、これらの内訳を内訳欄に記載すること。この場合において、通話に係る料金については、携帯電話1台の通話1回当たりの単価（通話時間ごとに単価が異なる場合は、その時間ごとに分けて記載し、単価に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする。）も併せて記載すること。

なお、契約に当たっては入札書の内訳欄に記載された賃貸借に係る料金及び携帯電話1台の通話1回当たりの単価をもって契約金額とし、賃貸借料の請求に当たっては賃貸借に係る料金に当該金額の5パーセントに相当する額を加算した金額（1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする。）により、通話料の請求に当たっては実際の通話に係る料金の総額に当該金額の5パーセントに相当する額を加算した金額（1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする。）により、請求するものとするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった金額（以下「入札見積金額」という。）の105分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

2 入札参加資格

本件入札に参加する資格を有する者は、次に掲げる要件を全て満たす者とする。

- (1) 政令第167条の4の規定に該当しない者であること。
- (2) 平成21年鳥取県告示第717号（物品等の売買、修理等及び役務の提供に係る調達契約の競争入札参加者の資格審査の申請手続等について）に基づく競争入札参加資格（以下「競争入札参加資格」という。）を有するとともに、その資格区分が事務用機器の電気通信機器類又はその他の賃借のその他に登録されている者であること。
なお、本件入札に参加を希望する者であって、当該資格区分に登録されていないものは、競争入札参加資格者名簿への登録に関する申請書類を平成23年9月21日（水）午後5時までに4の(2)の場所に提出すること。
- (3) この公告に示した業務を確実に履行できる者であること。
- (4) 平成23年9月13日（火）から同年10月7日（金）までの間のいずれの日においても、鳥取県指名競争入札参加資格者指名停止措置要綱（平成7年7月17日付第157号）第3条第1項の規定による指名停止措置を受けていない者であること。
- (5) 県との協力・連携体制を構築できる者であること。

3 契約担当部局

鳥取県警察本部警務部会計課

4 入札手続等

- (1) 入札に関する書類の提出先及び問合せ先
〒680-8520 鳥取市東町一丁目271
鳥取県警察本部警務部会計課予算係
電話 0857-23-0110（代）
- (2) 競争入札参加資格者名簿への登録に関する申請書類の提出先及び問合せ先
〒680-8570 鳥取市東町一丁目220
鳥取県会計管理者庶務集中局集中業務課物品・契約室物品調達担当
電話 0857-26-7433
- (3) 入札説明書の交付方法
(1)の場所で平成23年9月13日（火）から同月21日（水）までの日（日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日を除く。）の午前9時から午後5時までの間に交付する。
なお、郵送による交付を希望する者は、交付期間中に(1)の担当部局へ電話により請求すること。
- (4) 郵便等による入札

可とする。ただし、書留郵便（親展扱いとすること。）又は民間事業者による信書の送達に関する法律（平成14年法律第99号）第2条第6項に規定する一般信書便事業者若しくは同条第9項に規定する特定信書便事業者の提供する同条第2項に規定する信書便の役務のうち書留郵便に準ずるもの（親展扱いとすること。）により、(1)の場所に送付すること。

(5) 入札及び開札の日時及び場所

平成23年10月7日（金）午後2時（ただし、郵便等による入札書の受領期限は、同月6日（木）午後5時までとする。）

鳥取県警察本部入札室（鳥取県警察本部庁舎2階）

5 入札参加者に要求される事項

(1) 入札書は、件名及び入札者名を記入し、「入札書」と明記した封筒に入れ、密封して提出しなければならない。

(2) 本件入札に参加を希望する者は、2の入札参加資格に適合することを証明する書類を、4の(1)の場所に平成23年10月3日（月）午後5時までに提出し、入札参加資格の確認を受けなければならない。

(3) 入札者は、(2)の書類に関して説明を求められた場合は、それに応じなければならない。

6 入札保証金及び契約保証金

(1) 入札保証金

本件入札に参加する者は、入札保証金として入札見積金額の100分の5以上の金額を入札書に添えて提出しなければならない。この場合において、鳥取県会計規則（昭和39年鳥取県規則第11号。以下「会計規則」という。）第124条において準用する会計規則第113条に定める担保の提供をもって入札保証金の提出に代えることができる。

なお、次のいずれかに該当する場合においては、会計規則第123条第2項の規定により、入札保証金の全部又は一部を免除する場合がある。

ア 保険会社との間で鳥取県を被保険者とする入札保証保険契約を締結したとき。

イ 競争入札参加資格を有し、競争入札参加資格者名簿に登録された者で、落札後契約を締結しないおそれがないと認められるとき。

(2) 契約保証金

落札者は、契約保証金として契約金額（1の(4)にかかわらず、この場合の通話に係る契約金額は1の(1)のアの借入台数に1の(1)のイの通話想定回数により算定される通話料を乗じた金額とする。）に当該金額の5パーセントに相当する金額を加算した金額（1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする。）の100分の10以上の金額を納付しなければならない。この場合において、会計規則第113条に定める担保の提供をもって契約保証金の納付に代えることができる。

なお、会計規則第112条第3項の規定により、契約保証金の全部又は一部を免除する場合がある。

7 その他

(1) 入札の無効

2の入札参加資格のない者のした入札、入札者に求められる義務を履行しなかった者のした入札及び会計規則、この公告又は入札説明書に違反した入札は、無効とする。

(2) 契約書作成の要否

要

(3) 落札者の決定方法

この公告に示した業務を確実に履行できると判断した入札者であって、会計規則第127条の規定に基づいて作成された予定価格の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行ったものを、落札者とする。

(4) 手続における交渉の有無

無

(5) その他

詳細は、入札説明書による。